

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く 手をつなぎ
のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



情報活用能力

進まない季節が焦っているのか、このところ一気に寒さを感じるようになりました。今年の流行語に「二季」という言葉がノミネートされており、短い秋が当たり前のようになりつつあります。運動の秋、食欲の秋など、もう少し秋を楽しみたいです。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大によって、前倒しされた GIGA スクール構想により、当初五年ほどを目途に導入されることになっていた一人一台端末も、わずか二年ほどの間に全国各地で導入され、授業実践が進んでいます。AI の急速な発展により、さまざまな分野で AI をうまく活用しながら新たな課題に挑むという研究スタイルが主流となる現代社会において、情報活用能力が非常に重要な資質と能力となっています。教育においても次期学習指導要領ではこの情報活用能力をより生かした学びの枠組みが検討されているようです。

北小学校では、昨年度より、積極的にタブレット端末を活用しています。令和8年度以降の全国学習状況調査が CBT で実施されることから、今年度は日ごろの単元のテストや計算ドリルや漢字ドリルなどでも積極的にタブレットを活用しています。さらに、12月に実施する平戸市の学力テストにおいては、高学年ではタブレットを活用し、CBT で実施することとしています。

【紙のテストと CBT とのちがい】

○何より集計がすぐにできることが利点です。その分、児童へのフィードバックも早くでき、より指導に生かすことができます。

○問題の質も変わります。動画や音、色表現などが多様となり、これまで出題できなかった問題を出題し、これまで測ることができなかった能力を測ることができます。より日常の生活場面から必要な情報を読み取るような問題を出題することができます。

注意点

これまでより精緻に子どもたちの実態をみとることができる CBT ですが、その分タブレット端末の日常的な活用と整備が必要となってきます。

※充電…テスト中に電源が切れてはテストも受けられません。使える状態なのか毎日チェックが必要です。

破損状況の確認…タブレットは、扱い方によってはすぐに修理が必要となってきます。キーボードをたたくように使ったり、画面を固いものでこすったりとちょっとしたことで修理へとつながります。タブレットは借り物であることをもう一度考えて扱ってほしいと思います。

イヤホン…それぞれの操作で音声を聞くことができるのが CBT のよさです。それを生かすにはイヤホンが必要です。各家庭でイヤホンの購入をお願いします。(高価なものは必要ありません。)

CBT 活用の良さがきえてしまわないように、日常の点検と整備、特に正しい扱い方が必要です。児童が持ちかえた際に、タブレットの状況をご確認ください。

ICT 研修会

ます。先週は、新しく導入される Canva の使い方について、研修会を行いました。

Canva をつかうといういろいろなものがつくることがわかりました。テンプレートもたいへん豊富でした。ぜひ授業でも活用したいと思います。

せっかくタブレットが導入されても使わなければ意味がありません。学校の授業で子どもたちが活用する前に、私たち教職員の ICT 活用力向上が必要です。北小学校では、校内で職員の ICT 研修会を行い、スキルアップに努めています。

